

業務部速報



No. 70

発行 21. 10. 29

JR東労組 業務部

申14号「2021年度年末手当等に関する申し入れ」 第1回団体交渉開催！その2

JR 東労組の要求について趣旨説明を行い、満額回答を求める！

私たちの要求の根拠！

その1からの続き

JR 東日本第2四半期決算は「過去2番目に低い営業収入・運輸収入」「2期連続で営業損失・経常損失・四半期純損失を計上」という現実。

しかし、単体では四半期純損失1203億円と発表されているが、対前年765億円の増収！第2四半期時点での対前年鉄道運輸収入は、定期98.2%、定期外133.9%、計118%。

職場の努力によって、**昨年よりも鉄道収入は確実に回復している！**

JR 東日本 単体 損益計算書より

(単位:億円)

		第2四半期累計(4月1日~9月30日)			
		2020年度 実績 A	2021年度 実績 B	増減	
				金額 B-A	% B/A×100
単 体	営業収益	5,409	6,256	846	115.6
	うち運輸収入	4,343	5,124	780	118.0
	営業利益	△2,555	△1,043	1,512	-
	経常利益	△2,712	△1,125	1,586	-
	四半期(当期)純利益	△1,969	△1,203	765	-

運輸収入

定期収入	△35億円(98.2%)
定期外収入	+815億円(133.9%)
新幹線	+285億円
在来線	+530億円

**この職場の努力に
報いるべきだ！**

私たちの要求の根拠！

JR 東日本は、2021年度通期業績予想を下方修正し、「社員の皆さんへ」を発売。「Never Give Up!!」「下半期に限ると単体・連結ともに営業利益の黒字の可能性は十分にある」「今日から目標を下半期の黒字に切り替えていく」ことを明らかにした。しかし、記者会見で「さらなるコストカットに取り組みたい。社員の賞与の削減などを行う可能性もある」というマスコミ報道があった。

**下半期での組合員・社員の奮闘に期待をするならば、
要求満額回答をし、組合員・社員のモチベーションとすべきだ！**

**生活実感や労働実感などについて、
みなさんの声を集約しています！**



要求実現に向けて交渉で会社に現実を訴えていきます！

職場からのたたかいで、要求満額獲得を勝ち取ろう！